



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「①つくしくまわりを ②がおてあいさつを ③ちんとくつならべ」

令和6年度 第42号
熊本市立植木小学校
令和6年11月7日
校長 東田 昌樹

「4つのキケン」から安全対策を考えよう

11月7日(木)9時35分、地震の後に火事が起こる想定で避難訓練をしました。

1年生の教室を見に行きましたが、子どもたちは速やかに机の下に潜ることができました。その後、火災が発生した想定で運動場に避難しましたが、「⑥さない ⑥しらない ①やべらない ⑥どらない」を守って集合することができました。

8月に植木陸上クラブの子どもたちが合宿をしているとき、宿泊先で火の手が上がって避難するということが起きています。夜中の2時のことでした。すっかり寝ていた子どもたちでしたが、さっと起きて速やかに避難することができたとのことです。陸上のコーチの方が「避難の様子が素晴らしかった。」とおっしゃっていました。

校長の話の際、陸上クラブの子ども二人に前に出てきてもらい、そのときの避難の様子を全校児童に向かって話してもらいました。二人の子どもたちは、「日ごろの避難訓練が大事だと思いました。」と言っていました。平時のときに備えをしておくことはとても大切なことです。

避難訓練の後、体育館で安全集会をしました。夏休みの2泊3日での青少年赤十字リーダーシップトレーニングに参加した6年生の3人が進行をしました。この安全集会に、日本赤十字社より寺本伊織様、植木地区自治協議会会長の井上省三様においでいただきました。

寺本様より「4つのキケンから安全対策を考えよう」というテーマで、全校児童に向けて講話がありました。地震に伴う「4つのキケン」が示されました。



- 1 倒れてキケン(家具やテレビが倒れてくる危険)
- 2 落ちてキケン(本棚の上の花瓶、電球などが落ちてくる危険)
- 3 動いてキケン(台車など車輪付きの家具が動いてくる危険)
- 4 割れてキケン(窓ガラス、電球などが割れた破片による危険)

「家具が命を奪うかもしれない」と子どもたちに向かって話されました。実際に、1995年の阪神・淡路大震災で家具により命を奪われた例があります。「4つのキケン」から身を守り、普段から備えるにはどうすればいいかを子どもたちに考えさせられました。

安全対策としての地震の備えについては、子どもたちだけでなく、おうちの方も一緒に考えるべき内容です。子どもたちがワークシートを持ち帰っています。

また、日本赤十字社の「おうちの中のモンスター」という動画を見ました。

https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=c9U_OYPmLYo

この動画もお子さんと一緒に視聴しながら、ご家庭での安全対策について話をしてください。



【本校の教育目標】

気づき・考え・行動する自立と共生の力を備えた子どもの育成
～ どの子も大切にされ、どの子も成長する学校をめざして ～

